

# はじめに

旭川流域連絡協議会では、流域を構成する団体が緊密に意見交換・交流・連携することによって、「よりよい川づくり、地域づくり」を進めることを目指す中、平成 15 年度より、防災をテーマとし、「流域一体となった防災体制の構築」について検討をしてまいりました。

その一環として、協議会メンバーの河川管理者、各自治体の首長、建設部局関係者をはじめ、防災・保健衛生担当部局を含む約 100 名が参加し開催された、「平成 15 年度 旭川流域の水防災に関する研究会」では、今後の水防災のあり方として、施設整備や様々な予防策を行っていくのは大前提ですが、予測を超える災害が発生した場合、行政だけでは対応が不可能であり、足りない部分を補って被害を最小限にするには、「地域コミュニティによる自主的な活動が不可欠であること。」また、そのためには、「地域全体の防災意識の啓発が重要であること」の 2 点が確認されました。

これを受けて、「地域防災体制の構築に向けての自主防災組織育成」を目指し、平成 16 年度より、地域特性の異なる旭川上・中・下流域各々から、防災について先進的に活動を行っている地域を「モデル地域」として 3 地域(岡山市操明学区連合自主防災会、建部町川口自主防災会、真庭市開田自治会)を選定し、「モデル地域の育成・強化支援」の一つとして、「モデル地域における「防災マップづくり」を進めてまいりました。

本報告は、3 地域において実際に経験したノウハウなどをとりまとめ、「防災マップづくり」のヒントとして、今後、各市町村の担当者や自主防災組織のリーダーの方のために、マップづくりの進め方や活動内容等について分かりやすくまとめたものです。

地域における今後の「地域防災体制の構築に向けての自主防災組織育成」をより一層充実させるための参考として活用いただきますようお願いいたします。

旭川流域連絡協議会とは・・・  
河川行政施策や川を活用した地域づくりなどについて、平素から旭川流域内の 3 市 6 町 1 村、岡山県及び国土交通省が緊密に意見交換を行うとともに、旭川流域内の交流、連携並びに旭川流域に関する情報の発信を行っています。

## 委員構成

市 町 村	
岡山市 市長	久米南町 町長
瀬戸町 町長	美咲町 町長
赤磐市 市長	真庭市 市長
吉備中央町 町長	新庄村 村長
建部町 町長	鏡野町 町長

岡山 県
土木部 河川課長
備前県民局 建設部長
美作県民局 建設部長

  

国土交通省
岡山河川事務所 事務所長

